

KEMEKO ツーリングバッグ DRY-X3 マニュアル

楽しく長くそして便利にお使い頂く為のアドバイスとしてご覧いただけますと幸いです。
最初に概略として注意点をお読みください。

防水性能を持った製品の特長としての構造は各部パーツの取り付けにあります。

通常の布製バッグとの違いは溶着(ウェルダ)加工を用いていることです。

外見上本体に縫製されているように見えるパーツ類もよくご覧いただけるとわかるように、本体とは別のパーツに縫製取り付けされたものを本体に溶着することで内部への貫通を無くし非浸透性の素材性能を100%生かしているわけです。

同じように本体部分もパーツごとに溶着加工により形成されます。ただし、オープニング(ロールトップ部分)は複数回巻き込むことにより水の侵入を防ぐ構造ですのでこの特徴を理解したバックキングを行ってください。

溶着部分の性能は弊社の想定する範囲 2.54 cm当たり 12.5 kgで行われていますがご使用方法やロケーションによりましては想定を上回る未知数の重量には耐えきれない場合もあろうかと思えます。

この辺りはキャンプツーリング時において、“常識的”シートバックキングでのご使用をお願いするしかございません。

またこの後にもございますが金属を含め特に縫製や溶着等により接合される部分には引っ張り強度の強い方向とウィークポイントとなる弱い方向がありますのでご使用の際にはよくご注意ください。

	<p>■対応内容量</p> <p>本体の最小内容量の限界は両サイドのコンプレッションベルトの接続限界に依存します。</p>
	<p>■バインディングストラップ-1</p> <p>最大の特徴であるこのストラップはセパレートタイプです。 付属の凸バックルの接続方法、方向、位置、個数を状況に合わせて変更が可能です。 また他の荷物をバインすると同時にバッグ全体のコンプレッションとバッグ内部における荷物の固定をも可能にします。</p>
	<p>■バインディングストラップ-2</p> <p>デフォルトのバインディングストラップの凸バックルの取り付け形態は基本的な設定です。 一旦全部外して出来るだけ荷物の内容や完成サイズに合わせて組み上げましょう。 ポイントは実際に荷物を入れてロールトップを巻きサイドコンプレッションベルトのバックルを接続します。 以下に続きますのでご参照ください。 ※最初は少し考えますが次第にコツが見えてきます。</p>
 	<p>慣れるまでは最初の基本取り付け位置は本体上部の凹バックルです。 このバックルは上方向へ引かれるトルクに対してのみご使用ください。下方向ヘンションをかけると破損の原因となりますのでおやめください。※この上部4個のバックルの働きはバッグ本体のコンプレッションがメインです。ご注意ください。 ※下側の凹バックルは上下方向のトルクに対応しています。</p> <p>最初にこの一個にバックルだけを接続しストラップの取り回しを考えてください。 ※ストラップは繋がっていない状態です。またバックルストラップを通す際には裏と表があります。 考えが出来ましたら最初のバックルにストラップを通してみます。 通した先は上にきまつますが引いて緩い場合はバックルの裏表が逆ということです。 そして手元の凸バックルを次の凹バックルへつなぎます</p> <p>■自分の思う取回しをするに当たり、先に凸バックルをストラップへ取り付けようとするとかかなり悩みます。それを簡単にする方法は、凸バックルを先に全部外してから荷物にあった方法で通し、お好みのスタイルを作り上げるといった感じです。</p> <p>■中間に入るバックルは場合に応じてスルーさせるだけでも使えます。 一度やって頂くと状況がわかりスキルアップになると思います。</p>
 	<p>■バインディングストラップの取回し</p> <p>バインディングストラップの取回し方によっては画像のようにDカンにオーバーラップしてしまいますがフック等の使用は可能です。ツーリングネット等でDカンを有効にお使いになりたい場合はストラップをクロスさせる方法をお取りください。</p> <p>※画像大は向かって右側の上部バックルでコンプレッション→対角線上ボトムスルー→反対下側バックルという流れです。</p> <p>取回しの方法は幾通りも考えられます。ご自身にあった、また荷物の状況にあった方法をシュミレーションしてお楽しみください。バックル凸を追加することで求める機能にも対応ができるアドバンテージも秘めています。</p>

NEXT

	<p>■シングルストラップを使用して固定</p> <p>ユーザー毎によるDカンを使用しての固定も想定はしていますが荷物の量や重量によっては縫製部分に長時間に渡りかかる力を考えますと耐久性や安全面からあまり推奨はできません。 シングルストラップ2をご使用の場合はテスト段階ではDRY-X3の最大サイズ状況でも許容していますが個別の完成形状に対して保証はできかねます。 また、状況に応じてシングルストラップ2を追加されましてリスクの軽減をお願いいたします。</p> <p>バッグの収容力が良くても積載方法の不安や見た目が悪いと折角のシートパッキングも台無しです。 是非シングルストラップ2をご使用ください。今までのシートパッキングの苦労が極めて楽になります。</p>
	<p>■ボトムレールとハンドル</p> <p>大容量のDRY-X3はショルダーストラップやハンドストラップを非採用としました。 両サイドのパワーハンドルとボトムプレート、バインディングストラップで大きな荷物の積み下ろしは格段に楽になったことを実感していただけます。</p>
	<p>■ボトムレール</p> <p>弊社DRY-Xシリーズの特徴的なパーツです。DRY-X3では特に大容量を保持するために高強度素材を採用。 ※ボトムレールは高強度故に故意に無理な曲げ方や衝撃は与えないください。 破損やけがの原因となります。</p>
	<p>■エアバルブとロールトップ</p> <p>ロールアップする場合はバルブを開放してください。オープニングを合わせてロール部分を手前か向こうに折り曲げて全体のエアをできるだけ抜きます。その状態からエアを抜きながらロールを行い左右のコンプレッションバックルを留めます。 エアバルブはバイクに積載完了するまで開放しておきます。 積載がすべて終わってからバルブを閉めるようにしてください。</p>

オプション販売予定

- サイドコンプレッション補助ストラップ
- 追加バックルセット
- ロングタイプ バインディングストラップ